

神林地区関係人口創出事業実行委員会 令和3年度活動報告

神林地区関係人口創出事業実行委員会では、神林地区の人口減少に伴う少子高齢化の進む中で、これからの地域を支えていく将来の担い手不足を解消するための活動を行っています。今年度は共催団体のイベントを繋げて参加者に楽しんでもらう企画を考えておりましたが、昨年引き続き新型コロナウイルスの影響で盛大に活動を行うことができませんでした。そんな状況でも出来ることをやろうと委員が知恵を出し合い活動を行いました。

7月27日(火) 第1回 実行委員会
令和2年度事業報告及び収支決算について
神林地区関係人口創出・拡大の取組体系について
令和3年度事業計画(案)及び予算(案)について

8月5日(木) 事業実施団体との打ち合わせ
NPO 法人希楽々、とれたて野菜市かみはやし(株)、神林地区文化祭をつなぐ仕組みについて検討し、併せて検討課題の整理について

8月19日(木) 第1回役員・部会長・共催者会議
事業実施団体との打合せ会で協議した内容について
令和3年度事業案、スケジュール案、課題検討事項について

**8月21日(土) 神林地区関係人口創出事業
実行委員会のFacebook アカウントを開設**

9月21日(火) 第1回役員・部会長会議
委員会のFacebook を開設について報告
事業実施の可否について

10月1日(金) うえるかみing 第4号発行
「ハロウィン&かかし祭」、共催団体のイベント開催について

10月23日(土) 「ハロウィン&かかし祭」
道の駅神林「穂波の里」に展示するかかし、ススキでフクロウを作成。夕方からは点灯式を行いイルミネーションやジャック・オ・ランタンをライトアップ

**10月24日(日) 道の駅神林で
アンケート調査を実施**
ハロウィン&かかし祭で、これから目指す方向性やニーズを確認することを目的に実施

12月13日(月) 第2回役員・部会長会議
「ハロウィン&かかし祭」についての実施報告
アンケート調査のプレゼントの当選者を決めるため抽選会を実施

12月15日(水) うえるかみing 第5号発行
「ハロウィン&かかし祭」実施について

関係人口創出事業実行委員紹介 (順不同・敬称略)

役職	氏名
会長	竹内 友二
副会長(調整部会長)	佐藤 巧
副会長(運営部会長)	川崎 澄子
情報発信部会長	内山 秋善
監事	板垣 栄一
監事	松本 富雄
	大嶋 芳美
	尾方 己西
	木村 竜也
	佐藤 修平
	小田 徹
	八藤後 瑞枝
	野澤 道雄
	小川 清
	八藤後 敬一
	鈴木 佐登志
	岸 正浩
	近 英俊
	天井 久美子
	坂上 和



☆うえるかみing 第4・5号・Facebook は、こちらのQRコードから観覧できます



神林地区のまちづくり



平林：平林小学校鳴子贈呈式



神納：山田・岩野沢集落植栽事業



西神納：大塚集落花いっぱい運動

平林・砂山 神納・神納東・西神納 まちづくり協議会



砂山：お幕場クリーン作戦



神納東：七湊集落花いっぱいプロジェクト

Contents

各まちづくり協議会 会長挨拶	2・3p
神林地区まちづくり協議会10年のあゆみ	4・5p
神林地区関係人口創出事業アンケート実施	6・7p
関係人口創出事業 令和3年度活動報告	裏表紙

第13号
2022.3 発行

神納地域まちづくり協議会

地域の皆さんと共に



神納地域
まちづくり協議会
会長 小田 徹

早いものでまちづくり協議会が発足して10年が経とうとしています。ひとえに地域の皆様からのご理解とご協力の賜物と感謝致します。

さて、神納地域では恵まれた地域の自然を活かし、地域内の交流を深めみんなで協力し支え合いながら安心して暮らせるまちづくりを目指すことを基本方針として取り組んで参りました。集落での活性化、地域全体の交流や課題の解決、他団体や学校さらには他のまちづくり協議会との連携を図りながら進めて参りました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により一昨年より活動の自粛や各種イベントの中止が相次ぎ、現在においても活動そのものが出来ない状況が続いております。そんな中ではありますが次年度に向けた事業の計画、とりわけコロナ禍においても実りある事業ができないか知恵を出し合い計画づくりに取り組んでおります。新型コロナウイルスの感染が一刻も早く収束し以前の日常が戻ってくることを願っております。

地域の皆様方にはご健康にご留意され今度以上に、まちづくり協議会へのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



H29 野外体験活動

神納東地域まちづくり協議会

これまでの活動を振り返って



神納東地域
まちづくり協議会
会長 中山 忠勝

神納東地域まちづくり協議会会長の中山忠勝です。神納東地域ではこれまで自然や伝統文化などの地域の宝を活かした取り組みを行い、元気づくりを実現することで抱える課題や不安を解消して活性化を目指すべく活動を進めて参りました。地域全体の活動として、「神納東ふれあい運動会」や現在は閉校となった神納東小学校と連携して「神納東ふれあい市」など住民の交流による地域活性化と地元商品に触れることで魅力再発見をめざした活動を行ってきました。また、平成28年には山元遺跡が国指定の史跡として認定され、見学説明会や山道整備など地域の誇れるものを盛り上げていこうと郷土愛を育む活動も行ってきました。

今年度は新たに旧神納東小学校出身のプロサッカー選手、本間至恩選手応援隊の活動や3協議会合同の防災研修会も企画しておりましたが、新型コロナウイルスが猛威を振るい、大半の活動を自粛することとなりました。これからも地域活性化のために神納東地域が一丸となって取り組む事業を計画し、盛り上げていきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。



R1 神納東ふれあい市

西神納地域まちづくり協議会

「つながり・支え合い」のまちに



西神納地域
まちづくり協議会
会長 竹内 友二

平成24年に設立しました本協議会も10年目を迎え、当地域は11集落から成り地域の皆さんがつながりを持って課題や要望など話し合い、支え合いながら地域一体となって、安心して暮らし続けられることを願い設立されました。薄れいく人や集落のつながりをテーマにした取り組みに努めて参りました。20人の運営委員を中心に各種の活動を展開し、たくさんの方が主体的メンバーとして関わっていただけるように進めております。

夏祭り・夕涼み会や体育祭、雪まつりや地域住民の作品展など、四季とりどりのイベントを開催し、つながり・支え合いの醸成にあたってまいりました。

また3ヵ年計画毎に地域の意向調査を実施し、その結果を基に、世代間交流等の活動にも力を入れ、各集落の10代から60代の男女の代表に参加して頂き異世代の意見交換会なども開催してきました。さらに、いずれ地域の担い手となる中学・高校生の参加は、これからのまちづくりに、たいへん重要であり、一度は故郷を離れたとしても郷土の文化に触れることが大切かと思っております。今後とも、地域コミュニティ力を高め、人も行事もつながりから定着へ、加えて中学生高校生の郷土愛を育てていきたいと考えております。



H30 西神納ふるさと夏祭り

まちづくり協議会

神林地区では5つのまちづくり協議会が地域の特色を活かした住民の交流を深める活動や地域・集落が長年に渡って大切に継承してきた伝統芸能、抱える課題解決の支援など様々な活動を行い地域とは切っても切り離せないものへと成長しました。そのまちづくり協議会も立ち上がって10年が経過しようとしています。これから地域を盛り上げていくために必要なことは何か協議会の運営委員が考えるだけでなく地域にお住まいの皆さんの声を聞いて活動を進めてまいります。



平林地域まちづくり協議会

これまでの10年を見つめ、この先10年を考える



平林地域
まちづくり協議会
会長 小池 利也

平林地域まちづくり協議会会長を仰せつかっております、湯ノ沢集落の小池利也と申します。平林地域まちづくり協議会は、令和4年度で協議会発足から11年目を迎えます。これまで、集落での活動や地域を笑顔にする交流会など側面からサポートをしてきました。近年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、集落事業は基よりまちづくり協議会事業の実施が困難な状況が続いており、今後はコロナ禍で可能な事業を模索していく必要があると感じております。また人手不足などの課題なども捉えつつ、地域の課題を共有し、解決に向けた取り組みを進めていくため、関係人口の創出や市内外へ積極的にPRをしていく必要があります。

まちづくり協議会ではこれからも集落事業を支援していくとともに、地域の宝である子ども達との事業を推進し、この地域ならではの特有な資源を関係機関と一緒に大切に守っていきたくて考えておりますので、今後とも皆さま方のご理解とご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。



R3 平林イルミネーション

砂山地域まちづくり協議会

地域のために今から出来ることを



砂山地域
まちづくり協議会
会長 佐藤 修平

砂山地域まちづくり協議会会長の佐藤修平（塩谷総区長）です。砂山地域は、「お幕場」を中心とした広大な松林や「大池」、平成の名水百選に選ばれた清流「荒川」など美しい資源に恵まれた地域です。これまで当まちづくり協議会では、「お幕場」を守る活動としてクリーン作戦や、「大池公園」でのシバザクラと菖蒲の植栽活動を通じて、地域が笑顔になる取り組みを実施してきました。

ここ2年ほどは、新型コロナウイルスの感染予防のため、まちづくり協議会事業・集落事業が共に中止や縮小に追いやられました。先の見えないコロナ禍だからこそ、人と人との繋がりを大切にしながら、可能な事業を進めていきます。また、地域の課題解決のためには、地域住民と課題を共有して取り組むことが重要であり、解決に向けて市と集落などの関係者が連携して、今から出来ることを考えていく必要があります。

今後も集落事業の支援とともに、地域資源の環境整備を継続し、小・中学校の子ども達と一緒に、地域を考える事業を進めていきます。特段のご理解とご協力の程、よろしくお願ひいたします。



R3 お幕場クリーン作戦

神林地区まちづくり協議会10年のあゆみ

平成

神林地区5つのまちづくり協議会が発足

●平成24年度

岩船町駅開業100周年記念事業
100周年を記念した式典や記念碑の建立、パネル展を行いました。

●平成25年度

神納地域 神納地域大運動会
健康の増進と地域に住んでいる人の交流と親睦をいっそう深めようといわれました。各集落から総勢400名近い人が楽しく、真剣に各競技に参加し気持ちの良い汗を流しました。



H25 神納地域大運動会



H26 岩船町駅開業100周年記念碑



H26 お幕場の松林で行うイベント
松ぼっくりを使ったオブジェ作成

砂山地域 お幕場の松林で行うイベント
毎年違う催しを行い、参加者も今年は何をするか楽しみにしていました。平成26年度はレクリエーションを行ったり、松ぼっくりを使ったオブジェを作ったりして一体感を高めることができました。

●平成26年度

●平成27年度

西神納地域 異世代意見交換会
西神納地域の現状、課題から地域活性化に向けた方向性を導き出すため、地域住民と意見交換会を実施しました。



H27 異世代意見交換会

水曜どうでしょうキャラバン 2016
北海道テレビ人気番組の「水曜どうでしょう」から生まれたイベントが神林にやってきました。当日は神林地区のグルメや物産品が販売されました。

●平成28年度



H28 水曜どうでしょうキャラバン2016

令和

神納東地域 神納東ふれあい運動会
地域住民の交流と意識醸成を図ったふれあい運動会。平成30年度から防災の要素を取り入れた種目を実施し、防災意識の向上を図りました。

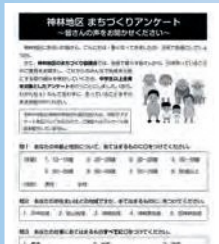
●平成29年度 ●平成30年度

平林地域 交流芋煮会と川部ハイキング&荒川クリーン作戦
各集落のお母さん方が腕を振って作った芋煮を堪能し、集落対抗クイズや餅まきを行い地域集落の交流を図りました。

神林地区中学生以上全住民アンケート調査
神林地区全域でアンケート調査を行いました。皆さんの困っていることは？地域の活動はどうか？など



H29 交流芋煮会と川部ハイキング&荒川クリーン作戦



H30 神納東ふれあい運動会

神林地区5つの小学校閉校記念事業

●令和元年度 ●令和2年度

神林地区関係人口創出事業実行委員会の発足
神林地区の将来の担い手不足を解消するべく立ち上げられました。



R2 関係人口創出事業実行委員会設立準備会

東京2020オリンピック 聖火リレー「沿道盛り上げ隊」
各まち協会長が横断幕を掲げランナーを応援しました。

●令和3年度

「ハロウィン&かかし祭」
10月23~24日、道の駅神林「穂波の里」にて神林地区関係人口創出事業実行委員会により、ジャック・オ・ランタンやかかし、ススキを使ったフクロウを作成して展示を行いました。



R3 東京2020オリンピック 沿道盛り上げ隊



R3 「ハロウィン&かかし祭」に向けかかしを作成

市民協働のまちづくりを目指して

平成20年度に5つの市町村が合併し、新村上市が誕生しました。各地域が抱える課題の解消や地域の活性化を目指し、市民と行政が一体となって「市民協働のまちづくり」を進めるために平成24年度から神林地区には5つのまちづくり協議会が立ち上げられました。神林地区には自然や伝統文化、郷土の食など魅力ある宝が多くあり、各まちづくり協議会はそれらの特色を活かしこれまで地域の元気づくりや魅力を伝える取り組みを数多く行ってきました。

しかし、年々地域を担う若者や子どもたちが減少し、高齢化も進んでいく中で地域・集落の機能を維持できるかなどの不安を抱えています。合併当初の平成20年4月には神林地区に10,135人の人が暮らしていましたが、それから13年が経ち令和3年4月には8,357人と減少し、13年間で1,778人、平均すると1年間に約137人が減少しています。そのため行政や関係団体、地域の皆さんが積極的に手を取り合い共に支え合いながら一体となって活動を進め、不安を解消する必要があります。

かみはやしのファンを増やすためにはどうすればいいかのご意見

料理教室や食に関する意見が17人

- ・食材のおいしい料理方法など伝授してほしい
- ・料理教室があったら参加してみたい
- ・食べ物がおいしいので、神林の料理が楽しみ
- ・郷土料理紹介や催し物を行う 等



体験教室などの意見が6人

- ・いろいろな体験教室に友達と参加したい。特に農業について
- ・体験や特典など付加価値があるものがある
- ・若い人もお年寄りも一緒になってできることがあればいいと思う 等



イベントを増やしてほしいという意見が11人

- ・いろいろなイベントがあったらいいです
- ・スポーツイベント
- ・イベントが定期的にあったらいいと思う 等



情報発信が必要という意見が10人

- ・オンライン、YouTubeなどで地域をアピール
- ・イベント情報がなく、買い物に行って知る。もう少し情報が分かるようにしてほしい
- ・コロナ禍で個人旅行が増えている。途中立ち寄れるお店紹介などSNSを使った発信を多くする
- ・新聞などにも掲載してもっと宣伝を！ 等



その他

- ・伝統芸能を披露する場を設ける
- ・歴史紹介
- ・ゆるキャラをつくる
- ・ツアー体験などを行い市外の人を呼び込む
- ・閉校した中学校などを活用してイルミネーションマッピングなどを行う。

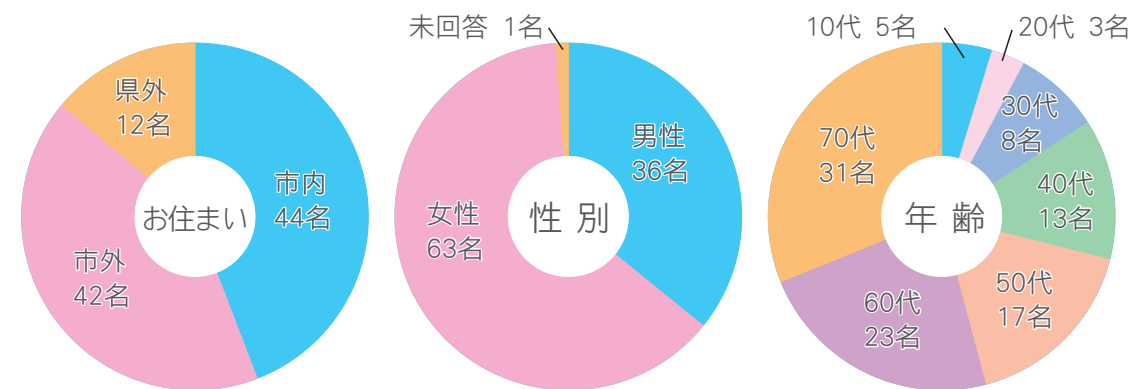


アンケートや意見を受けて

食に関する意見が多く郷土料理を味わってみたい、自分も作れるようになりたいという意見やイベントをもっと開催したほうがよいという意見が多く見受けられました。道の駅神林「穂波の里」という素晴らしい場所を活用して神林の魅力である食を大きくアピールしていくために、盛大なイベントも必要ですが、定期的に行うイベントがあることでもっと興味をもってくれる人が増えたり、人が来やすくなったりします。まず足を運んでくれる人を増やすことが関係人口創出において重要であると考えます。また、もっと情報発信を積極的に行ったほうがよいという意見も多くありました。神林地区関係人口創出事業実行委員会ではフェイスブックやインスタグラムを活用し、これまでよりも広く情報発信を行っていきます。SNSを活かしてイベントの情報発信だけでなく、神林の風景など普段の魅力発信することにより、何か一つでも興味を持ってもらえるように努めて参ります。

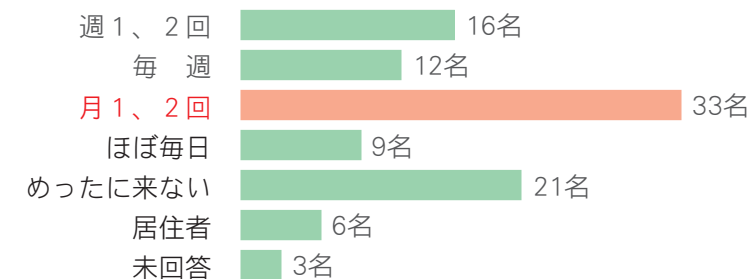
10月24日(日) 道の駅神林「穂波の里」にて開催されたイベント「八口ウィン&かかし祭」で神林地区関係人口創出事業実行委員会はこのからの目指す方向性やニーズに合わせた活動などを模索するべく、イベントに訪れた人100人にアンケート調査のお願いをしました。ご協力いただいた皆様には貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。アンケートの一部結果をまとめましたのでご覧ください。

アンケート回答者の属性



神林には何をしに来ますか？どんなことがあったらいいですか？

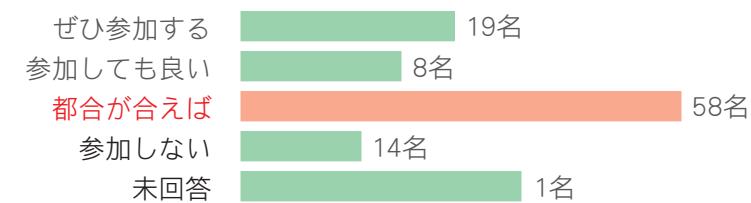
Q. 神林にはどれくらいの頻度で？



Q. 神林にはどのような目的で？



Q. ○○体験（郷土料理教室、漬物教室、伝統歴史教室、収穫体験）などを開催する場合、参加したい？



神林にはどのような目的で来ましたか？という問いに対してはアンケート会場を道の駅にしたこともあってか大多数が買い物目的で来られる人が多いようです。買い物に次いでドライブ、実家や知人を訪ねてという人が多い結果になりました。このような人たちがもっと神林を楽しんでもらうにはどうしたらよいか、神林の食文化には素晴らしい魅力があります。SNSなどを活用し、飲食店の宣伝をするなどして立ち寄った人がもう一歩足を運んでもらえるようなPRを継続的に行っていく必要があります。

